

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 労働組合 | 経営対策活動 | 生産性運動の3原則

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

組織活動

組織運営と法律

労働安全衛生

経営対策活動

教育・宣伝活動

労働時間をめぐる諸問題

教育活動

選挙活動

組合組織（公務員）

教育カリキュラム

🔍 キーワード検索はこちら

生産性運動の3原則

生産性運動のおこり

第二次大戦後、アメリカは戦災で打ちひしがれた西欧諸国の経済再建のため巨額の経済援助「ヨーロッパ復興援助計画（マーシャル・プラン、1948年～52年）を実施しました。

その援助の一環としてイギリスにおいて、経済再建には「アメリカ産業の生産性の高い秘密を解明し、イギリス産業に適用することが近道である」との結論で、この仕事を行なう機関として民間に生産性センターが設立されました。

この活動の成果があがって、イギリス経済の再建が軌道にのるにつれて、西欧各国にイギリスをモデルとした生産性センター設立の機運が高まりました。

更に、この機運に拍車をかけたのがアメリカの援助です。

アメリカは巨額なマーシャル・プランを打ち切り、援助を少額でしかも効率的な生産性運動に切り換えたのです。これにより西欧諸国に生産性センターが次々と設置されました。

また、これら西欧諸国の生産性センターの情報交換、技術交流の計画実施本部として1951年にヨーロッパ生産性本部が創設されました。（OECDに吸収）

西欧諸国に広がった生産性運動の目的は「国民の生活水準の向上」です。

生産性向上によってコストを引き下げて企業家の利潤を増大させ、投資家への配当を増加させ、一方労働者の手取りを増大させ、生産品の価格を引き下げて一般消費者を満足させ、究極において国民の生活水準の向上、国民所得の増大を目指した運動でした。

わが国の生産性運動のはじまり

1955（昭和30）年3月に経営者、労働者、および学識経験者の三者構成で「国民経済の生産性の向上を図る」ことを目的とする日本生産性本部が設立されました。

具体的な運動展開に当たっては、この運動の基本的な考え方、いわゆる「生産性運動に関する3原則」を設定いたしました。

(1)雇用の維持・拡大

生産性の向上は、究極において雇用を増大するものであるが、過渡的な過剰人員に対しては、国民経済的観点に立って能う限り配置転換その他により、失業を防止するよう官民協力して適切な措置を講ずるものとする。

(2)労使の協力と協議

生産性向上のための具体的な方法については、各企業の実情に即し、労使が協力してこれを研究し、協議するものとする。

(3)成果の公正配分

生産性向上の諸成果は、経営者、労働者および消費者に、国民経済の実情に応じて公正に分配されるものとする。

この3原則は、当時の時代背景として「わが国経済の自立」と「国民の生活水準の向上」をさせるためには、産業の生産性を向上させることが急務であったことと、国際労働機構（ILO）のフィラデルフィア宣言（1944年）「団体交渉権の実効的な承認、生産性向上に関する経営と労働の協力、ならびに社会的および経済的措置の準備と適用に関する労働者と使用者の協力を達成するための計画」、1952年の「企業における使用者と労働者との間の

協議および協力に関する勧告」などILOの生産性向上問題、労使協議制などに関する決議の精神を強く意識した
ものとなっております。

また、当時の生産性運動は、「資源、労働、設備を有効かつ科学的に活用して生産コストを引き下げ、それにより
市場の拡大、雇用の増大、実質賃金ならびに生活水準の向上を図り、労使および一般消費者の共同の利益を増進さ
せる」ことを目的とするものでした。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.